

平成元年度研究発表会講演要旨

日時：平成元年6月13日（火）10:30～14:30

場所：北大学術交流会館、小講堂 札幌市北区北8条西5丁目

研究発表会プログラム

10:30～11:45

座長 東海林明雄

1. 雪結晶の反射光による顕微鏡写真撮影について
油川英明（北海道教育大学岩見沢分校）
2. 耕地防風林の地吹雪捕捉機能と林木の雪害について
斉藤新一郎・成田俊司（北海道林業試験場）
3. 膜材を用いた屋根の融雪滑落性状について
苫米地司（北海道工業大学）
4. 最近のギャロッピング発生事例とその対策
藤田勝史・鈴木育夫・藤井裕（北電総合研究所）
5. 積雪深計の開発と問題点
秋田谷英次・新堀邦夫（北大低温研）、滑川真永（コーナシステム）、
河原金治（シグマ電子）、山根義昭（コンソーシアム）

13:15～14:30

座長 油川英明

6. 大正15年十勝岳泥流における積雪融解量
山田知充・立花義裕（北大低温研）
7. 小型ブレスャーヒローを応用した降雪強度計について
佐山惣吾・西川泰則・田村勇（北海道工業開発試験所）
8. 雪面蒸発量の斜面依存について
高橋修平・百武欣二（北見工大）、兒玉裕二（北大低温研）
9. 海水のLead分布と運動学的特性
榎本浩之（北見工大）、大村纂（ETH）
10. 大雪山に分布するパルサの内部
曾根敏雄・高橋伸幸（北大環境研）、福田正己（北大低温研）